平成3年(1991年)5月1日　第484号

世帯と人口
(平成3年4月1日)
世　帯　35,222　(+58)
人　口　106,362人　(−30)
男54,722　女51,640

広報えびな

編集・発行
海老名市役所広報広聴課
〒243−04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31・2111

野鳥は郷土の一部です

5月10日〜17日

愛鳥週間にあなたも バード・ウオッチングを

市内に120種の鳥が

五月十日から一週間は、愛鳥週間です。

鳥類は、世界では約八千六百種類存在するといわれ、日本では約五百種類が記録されています。神奈川県では三百三十二種類記録されており、そのうち約百二十種が市内に生息していると言われます。

これから夏にかけて、市内では次のような野鳥を見ることができます。

◎川辺でよくみられる鳥

ササゴイ（サギ科、体長45㌢）は全身が黒褐色に近く、腹は灰色がかった白。えさの魚をとるときは、虫などをくわえて水辺に待機し、魚のいそうな水面に虫を放り投げ、魚が虫を食べに浮上してきたところを捕食します。

その他、コチドリ・コアジサシなどがいます。

◎水田・湿地地帯でよくみられる鳥

アマサギ（サギ科、体長50㌢）は、頭やのどなどがオレンジ色。五、六十羽で飛来し、市内の田んぼなどで、バッタやカエルを捕食します。アマサギは海老名を代表する野鳥のひとつです。

その他、チュウサギ、ヒクイナなどがいます。

◎山林や丘陵地帯でよくみられる鳥

メジロ（メジロ科、体長約11㌢）は眼の回りが白く、のどは黄色、背はうぐいす色。市内の横山丘陵などでみられます。

その他、アオバズク、コサメビタキ、イカルなどがいます。

みなさんも、家の周りなどで、野鳥図鑑を手にして注意深く観察してみてはいかがですか。

カワセミ（カワセミ科、体長17㌢）は体が翡翠（ひすい）色。水中にダイビングして魚を取ります。別名「キングフィシャー」ともいわれ、環境に適応した野鳥で昭和60年ごろから市内で再び見かけられるようになりました。

トビ（ワシタカ科、体長約64㌢）は翼を広げると1㍍60㌢にもなります。主に死んだ魚などを食べ、相模川や水田地帯の上空を旋回しています。

野鳥の生活も急変

大空を舞う野鳥たちは、森林や農作物につく害虫をえさとするだけでなく、その声は私たちの心をなごませてくれています。野鳥は、自然環境を構成する重要な要素であり、豊かで潤いのある生活環境を形成する上で欠くことができません。

しかし、近年の開発などで急変する自然環境に合わせ、生活様式を変えながら懸命に生きている野鳥も少くありません。

たとえば、カワセミ（カワセミ科、体長約17㌢）は、川の土手に穴をあけ営巣し、魚を捕食していましたが、現在は生活用式を変えて丘陵地帯に生息しています。その他、イワツバメ（ツバメ科、体長15㌢）は、名前のとおり静かな山間部の岩場にしか生息していませんでしたが、今では東名高速道路のガード下などに営巣しています。

また、変化する環境に適応できずに、市内から姿を消した野鳥もいますし、釣り人が捨てた釣り針を飲んで死んだり、釣り糸が体にからまり足がもげたり、死んだりする野鳥の数も少くはありません。

野鳥と共存できる環境こそ、私たちにとってすばらしい環境といえます。そのためにも、私たち一人ひとりが野鳥をいつくしみ自然を大切にする心掛けが必要です。

ホオジロ（ホオジロ科、体長約16㌢）体は赤かっ色で尾のふちが白い。主に横山丘陵などに生息。鳴き声は、「一筆啓上仕りそうろう」と聞こえます。

"話し声"で野鳥がわかる

坂本堅五さん（今里）に聞いた判別方法

—上の写真も坂本さんが撮影—

手軽にできる野鳥の観察方法を、日本野鳥の会神奈川支部の坂本堅五さんに伺ってみました。坂本さんによると、まず家の周りを、次に近くの田んぼや川を注意して観察すると、すぐに二十種類くらいの野鳥を見ることができるそうです。

野鳥の判別方法で一番簡単なのが「聞きなし」といって、鳥の鳴き声を人の言葉に当てはめた見分け方だそうです。ここではその一部を紹介します。

◎ツバメ（ツバメ科）…「土食うて、虫食うて・しぶい」　◎ホトトギス（ホトトギス科）…「特許許可局」「テッペンかけたか」　◎コジュケイ（キジ科）…「ちょっと来い、ちょっと来い」「母ちゃんこわい、母ちゃんこわい」　◎メジロ（メジロ科）…「長兵衛、忠兵衛、長忠兵衛」　◎アオバズク（フクロウ科）…「ぼろ着て奉公」

野外に出るときは野鳥図鑑をポケットにしのばせ、鳥たちの話し声に耳を傾けてみてください。

5月12日～18日
春の行政相談週間
お気軽にご利用ください

五月十二日から十八日までは、「春の行政相談週間」です。行政相談とは、役所や公社・公団などの仕事に関する苦情や要望などを受け付け、解決促進に努める制度です。

総務庁長官の委嘱を受けた行政相談委員が、常時、自宅で相談を受け、問題解決のお手伝いをします。

行政サービスにあなたの声を…

また五月は「さわやか行政サービス運動」も展開中。行政サービスに関するあなたの声をお聞かせください。

市内の行政相談委員は次の方々です。

萩原松三さん（柏ケ谷川―3☎34・2225）

香川寿雄さん（河原口789☎32・5627）

なお市でも、五月十七日、午後一時半から四時まで、市民相談室で特設行政相談を行います。お気軽にご利用ください。

お問い合わせは、市民相談室（内390）へ。

高齢者趣味の教室を開催

六月から十一月までの毎週一回、高齢者趣味の教室を開催。受講生を募集します。

▽日時　六月―十一月の毎週一回（水曜日または金曜日）、午後一時半―三時半

▽対象　市内在住の六十歳以上の方

▽内容・募集人員　水曜日：はり絵（24人）・アートフラワー（17人）・日本画（20人）、金曜日：民謡（40人）・陶芸（20人）・書道（20人）・詩吟（15人）

全7科目156人受講生を募集

▽対象　市内在住の六十歳以上の方

▽内容・募集人員　水曜日：はり絵（24人）・アートフラワー（17人）・日本画（20人）、金曜日：民謡（40人）・陶芸（20人）・書道（20人）・詩吟（15人）※民謡のみは午前十時―正午

▽会場　市わかば会館（民謡）・中新田コミュニティセンター（はり絵・アートフラワー・日本画・陶芸・書道・詩吟）

▽参加費　各科目とも一回につき二百円を月初めにまとめて徴収

▽申し込み　五月十六日―三十日までに高齢者福祉課（内406）へ（定員を越えた場合は抽選。

大和斎場からお知らせ

5月24日(金)は、施設点検のため、お通夜・受付事務などの業務を休ませていただきます。

なお、電話予約の受付はいたします。

くわしくは、広域大和斎場組合事務局（☎64・5566）へ。

農業用水路 通水が始まります
危険防止にご協力を！

五月初旬ごろから農業用水路の通水が始まり、下旬には茜水になります。とくに相模川左岸幹線用水路は、流れが速いため、落ちた場合の救助が非常に困難で危険です。

用水路付近の各家庭、学校、幼稚園では、児童へ次の注意をお願いします。

●用水路には子供を近づかせないこと

●魚釣りや水遊びをさせないこと

●水門に近づかせないこと・また巻上機を動かさないこと

悲惨な事故を避けるため、危険防止にご協力ください。

運動公園わかりやすく
案内標識板を設置しました

市では、運動公園の施設利用者のために、次の二カ所に案内標識板（写真）を設置しました。

①主要地方道藤沢・厚木線、相模興業㈱入口付近

②主要地方道相模原・茅ケ崎線、山王原バス停南約二百㍍、クリーニング店わき

これは、運動公園を初めて利用する方から「入口が分かりづらい」という指摘があったためです。

主要地方道藤沢・厚木線、相模興業(株)入口付近に設置された案内標識板

県では、お年寄りと同居するために、住宅を新築・増築・改築など、改造する方に、その資金を償還期間十年でお貸しします。

▽対象　六十歳以上のお年寄りと同居中か、これから同居しようとする方。

▽貸付限度額　三百万円。

▽利息　年3％。

▽申込期間　平成三年十二月二十日(金)まで（ただし、工事着手時期によって申し込み期間が異なる場合があります）。

▽問い合わせ　高齢者福祉課（内406）へ。

300万円まで

高齢者居室等整備資金

貸し付けます

水環境フォーラム'91
～生活排水を考えるつどい～

美しい水環境を保全するため、暮らしの中から生ずる生活排水について見つめ直してみませんか。

県と市では、生活排水を改めて認識し、考える場として、基調講演や事例発表・パネルディスカッションなどを内容としたフォーラムを開催します。ふるってご参加ください。

シンポジウム

◇日時　5月30日（木）午後1時～4時半

◇会場　市文化会館大ホール（上郷476―2☎32・3231）

◇テーマ　暮らしの中から「地球にやさしい」水環境を考える

◇構成
- ●オープニングコンサート…県内アマチュアグループ
- ●基調講演…千葉紘子（タレント）
- ●事例発表　家庭などの取り組み2事例の紹介
- ●パネルディスカッション　松尾友矩（東大教授）・尾藤朋子（県衛生短大教授）・内海好江（タレント）・千葉紘子（基調講演者）

◇記念コンサート　チェリッシュ

展示会

◇日時　5月30日（木）午前10時～午後5時

◇会場　市文化会館展示室

◇内容　エコマーク商品・生活排水啓発パネル・合併処理浄化槽（モデル）などの展示・浄化槽相談コーナーなどの設置

◇対象　一般県民・関係団体・行政職員など約1000人

◇申し込み　ハガキに住所・氏名・電話番号を明記の上、神奈川県環境部水質保全課水質調整班「水環境フォーラム」係（〒231横浜市中区日本大通1）へ。先着順。

また電話でのお申し込みは、県環境部水質保全課（☎045・201・1111内3785～6）・県央地区行政センター環境部環境保全課（☎24・1111内243～4）・市経済環境部生活環境課（☎31・2111内531～2）

※入場は無料。駐車場が少ないので、車での来場はご遠慮ください。

情報は広報広聴へ　市役所　〒243-04 海老名市勝瀬175　☎31・2111(代)

情報コーナー

◆社会福祉施設産休等代替職員の登録　県下の社会福祉施設の業務に従事する職員産保対策の一環として、市内に居住し社会福祉施設に勤務を希望する方を登録。職種は保母・看護婦・栄養士・セラピスト・指導員・教護・教母・寮母・保健婦・調理員・介護員。申し込みは、5月20日―24日の間に福祉課児童係（内45）へ。登録申告書を提出してください▽問い合わせ　同課（内45）。

◆大人の歯ぐき検診　▽期日　5月22日(水)▽場所　厚木保健所海老名支所▽対象　20歳～39歳▽内容　歯ぐき検診、ブラッシング指導▽申し込み・問い合わせ　厚木保健所海老名支所（☎32・7911）へ予約制。

◆栄養相談　▽日時　5月13日(月)・20日(月)、いずれも午前9時～11時▽場所　厚木保健所海老名支所▽内容　乳幼児食・成人病予防の食事など食事に関する相談▽申し込み・問い合わせ　厚木保健所海老名支所（☎32・7911）。

◆高齢者趣味の教室「写真」の受講生を募集　5月20日・23日・27日・30日・6月6日の5日間、午前9時～11時半（5月23日及び30日の両日は、午前9時～午後4時）まで、市総合福祉会館などで行います▽内容　カメラの扱い方、写真の写し方から実習まで▽対象　市内在住　60歳以上の方20人（定員を超えた場合は抽選）▽受講料　1回に付き200円（材料費）▽申し込み　5月13日(月)―15日(水)までに高齢者福祉課（内406）へ。

◆えびなふるさとまつりのテーマを募集　えびなふるさとまつり実行委員会では、市制施行20周年記念第16回えびなふるさとまつりにふさわしいテーマを募集します▽締め切り　5月20日▽問い合わせ　広報広聴課内実行委員会事務局（内275）▽参考　「夏だ！まつりだ！10万人！」（第13回えびなふるさとまつりのテーマ）。

◆神奈川県警察官募集▽試験日　6月9日(日)▽申込受付期間　5月1日(水)―27日(月)▽採用予定人員　男子警察官―約110人（A区分約80人・B区分約30人）▽受験資格　A区分―学校教育法による大学（短期大学を除く）を卒業または平成4年3月までに卒業見込みの人で、昭和39年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた男子。B区分―A区分に定める人以外の人で、昭和39年4月2日から昭和48年4月1日までに生まれた男子（高等学校の最終学年に在学する人は除く）。

◆第41期労働大学講座受講生募集　労働基準法・労働組合法・労働判例などの労働法、賃金・退職金・社会保障などの労働経済、労働時間短縮などの現代の労働問題などを一流講師陣がわかりやすく解説します▽日時　6月3日―10月14日(横浜)、6月4日―10月18日(厚木)いずれも午後6時15分―8時15分(全30回)▽会場　横浜―県勤労会館(毎週月・木曜日)、厚木―厚木労働センター(毎週火・金曜日)▽受講料　6千180円▽申し込み・問い合わせ　県労働福祉課（☎045・201・1111内4057）へ。

◆自然タッチング―第1回「新緑の野山を歩こう・高取山軽登山」▽日時　5月19日(日)、午前10時―午後3時▽会場　県立野外教育センター▽対象　小学生以上・一般（小学生は保護者同伴）50人程度（先着順）▽内容　自然観察やゲームをしながら新緑の高取山（726㍍）に登る▽参加費　実費―人300円（資料・保険料）▽申し込み・問い合わせ　往復ハガキに参加者全員の氏名・年齢・性別・住所・電話番号を明記し、5月15日(水)までに、県立野外教育センター・自然タッチング係（〒243―03愛甲郡愛川町半原3390☎81・1611）。

◆ふれあい野外活動リーダー養成講習会　▽日時　6月29日(土)―30日(日)（一泊2日）▽会場　県立野外教育センター▽対象　野外活動（キャンプ）に興味のある人▽内容　キャンプファイヤー・野外炊事など▽参加費　一人2千円▽申し込み・問い合わせ　ハガキに住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記し、6月14日(金)までに県立野外教育センター「ふれあい野外活動リーダー養成会」係（〒243―03愛甲郡愛川町半原3390☎81・1611）。

◆社会福祉施設職員の登録　県下の社会福祉施設の業務に従事する職員産保対策の一環として、市内に居住し社会福祉施設に勤務を希望する方を登録。職種は保母・看護婦・栄養士・セラピスト・指導員・教護・教母・寮母・保健婦・調理員・介護員。申し込みは、5月20日―24日の間に福祉課児童係（内45）へ。登録申告書を提出してください▽問い合わせ　同課（内45）。

◆えびなふるさとまつりのテーマを募集　えびなふるさとまつり実行委員会では、市制施行20周年記念第16回えびなふるさとまつりにふさわしいテーマを募集します▽締め切り　5月20日▽問い合わせ　広報広聴課内実行委員会事務局（内275）▽参考　「夏だ！まつりだ！10万人！」（第13回えびなふるさとまつりのテーマ。

公共下水道の供用を開始
対象は柏ヶ谷ほか14地域

五月十五日から、市が平成二年度末までに整備した公共下水道の供用が、次の地域で開始されます。

関係図書縦覧できます

東柏ケ谷・二・三・四丁目、柏ケ谷、上今泉一・六丁目、下今泉、上鄕、国分、国分南、中央一丁目、社家、今里及び門沢橋などの一部地域。

この地域内に建築物を所有している方は、公共下水道の使用が可能になりますので、法令などにより三年以内にくみとり便所の水洗化や、排水設備の設置が義務づけられ、この義務期間を経過してしまうと、助成金及び工事資金の貸付あっ旋が適用されません。ご注意ください。

なお市では、供用開始の対象となる方に、関係資料を配布するとともに、五月一日から二週間、関係図書の縦覧を下水道業務課で行っています。

問い合わせは同課（内535）へ。

5月1日～31日

路上駐車追放強化月間

座間警察署では、五月を「路上駐車追放強化月間」と定め、一日から三十一日までの間、市や交通安全協会などの協力を得、路上駐車に対する追放気運の高揚運動と指導取り締まりを重点的に実施します。

また郡内、道路交通法の一部が改正され、平成二年七月三日の公布を経て、今年一月一日から施行されました。その結果駐車違反の反則金と違反点数が引き上げられています。

ちょっとした駐車が、みんなの迷惑や交通事故の原因になります。路上駐車をしないよううっさせないよう、ご協力をお願いします。

ご協力ください

なくそう！違法駐車

県立青少年会館　5月（31・9787）

☆スクエアダンス講習会　楽しみながら、だれにでも覚えられるウォーキングダンス。5月17日―8月30日(毎金曜日)。午後7時―9時。高校生以上の青年。参加自由。会場は当会館。教材費600円。

☆子ども工作教室「日曜工作コーナー」　ペーパークラフトを中心に、だれでも簡単に作れる工作。5月12日(日)。午後1時半―4時。幼児から大人まで。参加自由。会場は当会館。

☆青年コーラス教室　ポピュラーソングから合唱曲まで。5月15日―3月23日(毎水曜日)。午後7時―9時。高校生以上の青年一般20人。申し込み制（電話か直接）。会場は当会館。いつからでも参加できます。

☆子ども初心者将棋教室　駒の動かしかなど基本から将棋のルールを学び、将棋の楽しさ、おもしろさを知ろう。6月5日―20日(毎水・木曜)。午後3時半―5時。小学3年生―6年生15人。申し込み制（電話か直接）。会場は当会館。

市長随想
今は懐しい野鳥の餌付け

子供のころから鳥が好きだったんですね。今は禁止されていますがカスミ網で野鳥を捕えることに熱中していました。

私の子供のころは、遊ぶものもなく、春と夏は川や田んぼで魚とり、秋と冬は野鳥とりで川原や野山をかけまわり、毎日が楽しい日々でよき時代だったと言えるでしょう。

今は、見ることのない「オシドリ」が田んぼの落穂をあさりに、夜によく飛来してきました。昼間は仲間と、またリ「クイナ」「スズメ」などで、小屋を作り飼ったものです。餌をあげるのに苦労しましたが、そのころが思い出されます。

青年期は、空気銃や猟銃で「カモ」「ハト」「シギ」「コジュケイ」などの狩猟を行いました。しかし近隣は現在では、禁猟区ですので猟も出来ません。ときどき射撃場に行きますが、うまく当たりません。

広報えびなに一面に掲載しましたが、五月十日から愛鳥週間です。幼いころ鳥を捕っていた時とは違って、今は自宅付近に飛来する野鳥の姿を鑑賞して、親しんでおります。

海老名市長　左藤　究

夜は危ないので近所の老人のお供をして、カモ用のカスミ網を張りに行き、朝早く鳥がかかっていないかを見に行くのが楽しみでした。

よく仲間で、川辺のアシに生息している「セッカ」（ヒタキ科、体長約13㌢）を捕えましたが「人になつかない」と言われるように、セッカ、くい捕えても、一度も餌付けることができませんでした。

その他、いろいろ工夫して捕えた鳥は、「サギ」「オシドキ科、体長約13㌢）を捕えました。

第2・第4土曜日は閉庁です。

5月は11日、25日が休みです。

お問い合わせは行政管理課（内282）へ。

軽自動車税の納税通知書
5月上旬に発送します

軽自動車やオートバイに課税される軽自動車税の納税通知書が、五月上旬に発送されます。

これは、本年四月一日現在、軽自動車の登録をしている方に対して課税されるものです。納期は一回で、納期限は平成三年五月三十一日です。

問い合わせは、市民税課（内341）へ。

みんなの伝言板

このコーナーに掲載を希望される方は、原稿を作成して……広報広聴課　広報広聴係（内212）へ

◉病院講演会　▽日時　5月24日、午後5時―6時▽場所　海老名厚生病院リハビリ室▽入場　無料▽講師　東海大学教授・佐藤修氏▽テーマ　テンカンについて▽問い合わせ　海老名厚生病院企画室・高橋（☎31・2511）

◉弓道を習いたい方へ　弓道に興味のある方、ぜひご参加を。練習は各自の希望する時間にでき、弓などの道具は買いそろえる必要はありません▽対象　中学生以上、初心者・有段者・男女問わず（特に中学生は歓迎）▽申し込み　ハガキに氏名・住所・年齢・職業を記入のうえ、5月末日までに池田正一郎（国分南2―21―12）へ

◉牛乳パック回収にご協力を　純粋なパージンパルプから作られる牛乳パックは、「紙」の原料になります。捨てればゴミ、集めれば資源。ちょっと家庭で手間をかけて資源の再利用にご協力ください▽方法　飲み終ったら水洗いし、乾燥させてから手開きで1枚の紙のように広げる（ヒモ・ガムテープでまとめないでください）▽回収場・問い合わせ　コープかながわ上今泉店（☎33・5577）・大谷店（☎31・2405）・柏ケ谷店（☎32・6402）

◉空手同好会会員募集　市空手連盟加盟団体です。健康とストレス解消のため、汗を流しましょう▽対象　小学生1一般男女▽練習日時　毎週土曜日、午後7時―9時▽場所　海老名高校格技場▽連絡先　奥久志（☎55・0724）

◉看護婦研修会を開催　未就業看護婦などで、今後就業を希望する方を対象に研修会を開催します▽日時　6月17日(月)、18日(火)、20日(木)、21日(金)、いずれも午前10時―午後4時▽場所　海老名高等看護学院（大谷4803―3）▽申し込み　ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号・所持免許の種類・離職年数・受講動機を明記し、5月20日(月)までに厚木メジカルセンター（〒243厚木厚木町6―1―28）▽問い合わせ　厚木メジカルセンター（☎22・8592）

◉越中おわら節同好会会員募集　唄・踊り・三味線・胡弓など本場のおわらを気楽に楽しむ会です▽場所　海老名みずほハイツ集会所▽練習日　日曜日（月2回）・午後1時―5時▽会費　1回千円▽問い合わせ　高尾文子（☎33・1315）

◉海老名ファミリーズ入会のお誘い　海老名青少年会館で、楽しくストレッチ体操をしてみませんか。新入会員をお待ちしています▽練習日時　毎週火曜日、午前9時半―11時▽会費　年4千300円（保険料を含む）▽連絡先　吉川（☎31・4301）

◉県立新磯高校コミュニティスクール「楽しい陶芸教室」　手びねりから電動ろくろまで。身近な陶器を自分の手で作り、焼き物作りの楽しさを味わおう▽日時　6月1日―7月13日の毎週土曜日（全7回）▽午後1時―4時▽定員　30人▽教材費　2千円▽申し込み　5月16日―22日に住復ハガキに住所・氏名・電話番号・年齢・経験の有無を明記の上、県立新磯高校（〒228相模原市新戸2607―2）へ

※22日必着。申し込み多数の場合は抽選。既に受講した方は除きます▽問い合わせ　同校（☎56・6711）へ

ご寄付ありがとう

◇社会福祉事業へ

▽十九万七千円＝神奈川県自転車商協同組合（理事長・平本昇策氏）▽チョコレート二千箱（40万円相当）＝皆川道博氏（茅ケ崎市緑ケ浜）

◇交通事故防止のために

▽交通安全横断旗千六百本、交通安全指導旗八十本＝（社）神奈川県トラック協会相模支部（吉田幸一支部長、田田迪彦海老名地区会長）

ふたつとない図案を募集！

下水道マンホール蓋デザインコンクール

毎老名市の下水道は、昭和四十七年度に事業に着手して以来、全市民への普及を目指して整備を進めていますが、平成二年度末の普及率は五八％、下水道管の総延長は約百五十㎞となっています。

しかし、下水道管は地下に埋もれているため、みなさんの目に触れる機会が非常に少なく、そのためどうしても下水道は疎遠な存在となりがちです。

こうした中で、みなさんと下水道の唯一の触れあいの接点となっているのが、道路上に設置されているマンホールの蓋（ふた）です。この点に注目すれば、下水道が唯一自由に自己の存在を主張できるのがマンホールの蓋ともいえます。

マンホールの蓋は下水道の〝顔〟。

現在使用されているマンホールの蓋は、規格品の中央に市章をあしらったもので、市内に約五千五百個設置されています。市では市制二十周年を記念して、「市民のみなさんに、より親しみをもっていただけるデザインのマンホール蓋」を作製するため市民のみなさんから、このデザインを募集しています。ふるってご応募ください。

◎デザイン上の留意点

次の五点に留意してください。

①一見して美しさがわかる
②どの方向から見ても美しい
③何度見ても飽きない
④数十年にわたって美しさが感じられる
⑤周囲の環境にマッチしている

全国で千百以上の市町村が公共下水道事業を実施していますが、この中でも数々の優秀なデザインの作品が作られています。その主な題材は、風景、鳥、動物、魚、植物などです。

応募要領は左のとおりで、入選作品の作者には、賞金、賞品などが贈呈されます。問い合わせは、「下水道業務課（内631）」へ。

【公共下水道マンホール蓋デザインコンクール応募要領】

▽応募資格　市内在住または在勤の方
▽規格　B四サイズ（紙質は問いません）、一人三点以内
▽応募方法　作品の裏面に住所、氏名、年齢、職業、電話番号を（市内在勤の方は勤務先も）明記して、下水道業務課に直接または郵送で
▽締め切り　八月二十三日（金）必着
▽発表　九月八日（日）実施

スポーツクラブリーダー研修

地域スポーツクラブやサークルで活動している中堅リーダーを対象に、課題別研修を行い、リーダーとしての資質の向上を図ることを目的とした「スポーツクラブリーダー研修Bコース」が次のとおり開催されます。

▽日時　六月七日～九月二十日、毎週金曜日、午前の部＝一時～正午、午後の部＝一時～三時▽会場　県央地区体育センター（☎240・7211）▽種目　バドミントン、軽スポーツ▽内容　バドミントン・軽スポーツの各指導法、講義・実技・研究協議▽対象・人員　スポーツクラブやサークルで三年以上指導している方、各種スポーツ（レクリエーション）団体で三年以上指導している方、各種とも二十人▽受講料　無料▽申し込み　市教育委員会・団体などの推薦を受け、同センターへ五月二十八日（火）までに申し込む。

家庭婦人対象にテニス教室開催

市テニス協会では、家庭婦人を対象にしたテニス教室を次のとおり開催します。

▽日時　六月五日（水）、七日（金）、十二日（水）、十四日（金）、十九日（水）、二十一日（金）、予備日＝二十六日（水）、二十八日（金）、午前九時～十一時▽会場　運動公園庭球場（4面使用）▽対象　初心者▽募集人員　五十人（申し込み多数の場合は抽選）▽参加費　三千円（初日に徴収）▽申し込み　往復はがきで、〒二四三－〇四　海老名市国分三三－一　海老名郵便局私書箱九号　海老名市テニス協会まで、五月十五日必着。▽問い合わせ　氏原（☎32・7801）まで。

バドミントン夏期大会を開催

市バドミントン協会では、バドミントン夏季大会を次のとおり開催します。

▽日時　六月十六日（日）午前九時から▽会場　運動公園総合体育館大体育室▽種目　男女別ダブルスA・B・C・壮年、ジュニアダブルス、ミックスダブルスA・B▽参加費（1種目当たり）一般　千円、高校生七百円、小中学生　五百円▽申し込み　清田裕子（本郷5563、☎38・4928）まで、六月七日必着。

◎平成2年度春季バドミントン大会結果（運動公園総合体育館・165人参加）

◇男子シングルス【Aクラス】▽1位　小沢孝太郎▽2位　川野秀敏▽3位　中野将
◇同【Bクラス】▽1位　斉藤高夫▽2位　猿子修司▽3位　前田大介
◇男子ダブルス【Aクラス】▽1位　鈴木誠・小沢孝太郎▽2位　結城聡・川野秀敏▽2位　一色朗満・須山清
◇同【Bクラス】▽1位　中野将・金子弘美▽2位　伊藤直行・手塚浩行▽3位　斉藤高夫・鈴木正行
◇同【Cクラス】▽1位　和田孝一・岩沢豊▽2位　小俣直久・川口達也▽3位　柴田肇・堀間博之
◇同【壮年】▽1位　小川元衛・那須孝▽2位　坪俊宏・田中豊一▽3位　中山俊樹・桜井道則
◇女子シングルス【Aクラス】▽1位　柏木淳子▽2位　金子弘美▽3位　斉藤久美子
◇同【Bクラス】▽1位　新村美樹子▽2位　細貝尚子▽3位　清水裕子
◇女子ダブルス【Aクラス】▽1位　柏木淳子・斉藤久美子▽2位　清田裕子・富水純子▽3位　袋田千代子・石倉幸枝
◇同【Bクラス】▽1位　鈴木文子・水嶋恭子▽2位　石井綾子・和気史子▽3位　野本礼子・菊池みどり
◇同【Cクラス】▽1位　岩本初江・浅野つや子▽2位　松本さくみ・山田伊津美▽3位　横山久子・飯塚利江
◇ジュニア男子【シングルス】▽1位　中島信也▽2位　高木俊介▽3位　安達智一
◇同【ダブルス】▽1位　高木俊介・安達智一▽2位　安達章人・清田祥世▽3位　中島信也・吉川貴嗣
◇ジュニア女子【シングルス】▽1位　鈴木由美▽2位　中島美保▽3位　城戸美智代
◇同【ダブルス】▽1位　中島美保・鈴木由美▽2位　笠間美紀・池田真弓▽3位　中台博子・前田奈央子

◎市テニス協会平成2年度ミックスダブルス大会結果（運動公園庭球場・72人参加）

▽1位　斉藤順子・斉藤隆（エグザストC）▽2位　森川千鶴子・石井光雄（エグザストC・T・B・C）▽3位　沼山美樹子・岩野勉（F・T・C）▽4位　氏原政枝・竹内晴男（エグザストC・T・B・C）

◎ジュニア男子【シングルス】▽1位　鈴木由美▽2位　中島美保▽3位　城戸美智代
◇同【ダブルス】▽1位　中島美保・鈴木由美▽2位　笠間美紀・池田真弓▽3位　中台博子・前田奈央子

◎市テニス協会平成2年度ミックスダブルス大会結果（運動公園庭球場・72人参加）

▽1位　斉藤順子・斉藤隆（エグザストC）▽2位　森川千鶴子・石井光雄（エグザストC・T・B・C）▽3位　沼山美樹子・岩野勉（F・T・C）▽4位　氏原政枝・竹内晴男（エグザストC・T・B・C）

4月の価格情報

（単位：円）

品目	単位	大型店 平均価格	大型店 最多価格	中小店 平均価格	中小店 最多価格
しょう油	パック1L	279（56）	293	290（35）	298
みそ	袋入1kg	398（50）	398	351（32）	398
砂糖	白1kg	220（▲8）	238	242（5）	250
マーガリン	パック225g	194（▲23）	——	196（17）	198
サラダ油	ポリ700g	323（▲5）	——	367（41）	368
マヨネーズ	ポリ500g	348（42）	348	336（38）	348
小麦粉	薄力粉1kg	174（▲8）	——	205（6）	198
牛乳	パック1L	220（7）	225	206（1）	198
鶏卵	M10個入	238（58）	——	249（77）	250
豚肉	もも肉100g	154（5）	128	152（3）	——
無リン合成洗剤	箱入1.5kg	759（6）	830	808（▲13）	830
粉石鹸	袋入3kg	843（——）	840	883（——）	950
灯油	配達18L	—（——）	——	955（124）	——

＊価格は、海老名市消費生活モニター30人の協力を得て、月初めに調査した通常平均価格です。（　）内は前年同月比で▲印は、安。

海老名タイムトンネル　写真が語る市制20年の歩み

海老名駅が48年に移転

移転当時の海老名駅。駅前広場は整備中

市では、市内に残る古い写真を収集しています。風景や風俗、人物などを撮った古い写真をお持ちの方は、市史編さん室（内291）へご連絡を。

【昭和48年】▽4月　「市長への手紙」制度が始まる。

門沢橋小学校が開校▽5月「さつき町」誕生。命名は市の花・さつきから▽12月　小田急・相鉄の海老名駅が現在地に移転

【昭和49年】▽3月　上郷スポーツ広場が完成▽6月　海西中学校が開校▽7月　市内初の住居表示を実施。大谷国分寺台と国分寺台樽井地区が国分寺台1～5丁目に▽9月　総合防災訓練を初めて実施

……

現在の小田急・相鉄の海老名駅が完成したのは、48年の末でした。

旧海老名駅は現在の駅舎から新宿寄り側の所にあり、小田急の電車基地もなく周りは水田が広がって、駅前広場も小さなものでした。

新しい駅舎の完成に伴い、駅前広場も6千平方㍍の敷地にバスとタクシーのターミナル、歩道、車道、緑地と計画的に整備され、市の表玄関として恥じないものとなりました。現在では、駅前に海老名中央公園が完成し、商業集積も進み市の中心地として大きく発展しています。

上郷スポーツ広場は49年に完成

公民館だより

〝私の長女〟誕生

手芸教室で青い目の人形を製作

一針一針心をこめて作った人形はまるで我が子のよう

一月三十日から三月六日にかけて、市中央公民館では〝青い目の人形と小物の製作〟と題して手芸教室が開かれました。

講師はアメリカン・クラフトハウス主宰の藤井美津子さん。愛らしい人形や数々のかわいい小物にひかれ、各地から手芸教室の申し込みのある藤井さんですが、「手芸を楽しむだけでなく、同じ趣味を持った人たちがお互いに雑談を交すうちに親しくなり、友達になってほしい。そんな雰囲気が好き」と話され、忙しい日程をぬって「公民館講座」の講師を引き受けてくれました。

第一回目と二回目は午前、午後を通して行われ、会場はたちまち裁縫用具、布地、綿などでいっぱいになりました。また受講者全員の昼食を先生が用意されたのにはびっくり。

「手芸教室ではいつも私が作るんです。こうして食事をしながらも話ができる、これがいいんですよ」

と先生。楽しい雰囲気の中で人形製作が進み、二回目には「はい、一人生まれました」「はい二人目…」の声とともに次々と人形が完成。あちこちでうれしそうな顔が見られました。ちょうど新生児等身大の人形。抱くと肌ざわりといい感触といい、まるで赤ちゃんそっくりです。ある受講者は、

「孫がとびついて抱っこし、かわいいかわいいと頬ずりしていました。『キドニーちゃん』と名付けたんです。もう一人の孫にも作ってあげなくては」

と。その後は計六個も作り、孫全員にプレゼントした、とのことでした。

人形作りのほか、かわいい猫のついた眼鏡入れ、ふんわりした暖みのあるバスケット、マリー・アントワネット人形のついたウォール・ポケットなど、日程内で時間のある限り、皆さん夢中で作りました。

毎回、欠席者が一人もなく、開始時刻前には全員集まってしまうほどの盛況ぶりだった同講座は八回で終了しましたが、

「こんなに楽しい講座は初めて」「先生の人柄にひかれ、毎回が楽しみでした」

とたくさんの喜びの声が聞かれました。

今月のプロフィール

夢はニューヨークマラソン

独特の練習方法で大会出場は281回

松本　良夫さん

「マラソンの効用は単に健康に良いばかりではなく、走り〟を通して自分に自信が持てることですね」

と話すのは、マラソン歴十三年の松本良夫さん（国分、66歳）。松本さんは過去、ロードレースやマラソン大会に二百八十一回出場しており、二年前にはホノルルマラソン年齢別部門で二位、河口湖マラソン年齢別部門で三位といった好成績を残している。最近では今年三月の大山登山マラソンで、出場者二百八十九人中五十九位で完走した。

昭和五十三年当時、会社員だった松本さんは、健康のためにと、医師にスポーツを勧められ、赴任先の群馬県前橋市でマラソン同好会に入会した。

「入会していざ走ってみると、五百㍍も進まないうちに息切れがしてリタイア。そのわきを私よりずっと年配の方が平気な顔をして走っていく。昔から体力には自信があっただけに、ショックを受けました」

一念発起した松本さんは、以来、毎日走り込みを続け、走行距離も序々に延ばしていった。その結果、体力も、自称四十歳代・にまで回復し、一日二回、朝と晩に行う一時間約十㎞のランニングが日課として定着した。

日課といっても毎日同じコースを走る訳ではなく、走り始める前の気分で、朝は河原を、夜は丘陵地を、と変化をつける。変わりゆく海老名の四季や風景を楽しみながら走ることが、長続きのこつとか。

「マラソン大会に数多く出場するのは、良い成績を残すことより、自分のペースを崩さずとにかく完走し、ゴールラインを踏んだときの無上の満足感を味わいたいためです。ゴールした瞬間、走行中の苦しさがうそのようになくなるんです」

マラソンでの体験から「継続は力なり」を座右の銘とする松本さんの夢は、ニューヨークマラソンに出場し完走することだそうだ。六人家族。

スリム教室に参加を

―初夏までにシェイプ・アップ―

肥満は高血圧、糖尿病、心臓病など、成人病の引き金になります。「スリム教室」に参加し、心もからだもシェイプアップして生き生きした生活を目さしませんか。

▽日程と内容　六月十日（月）午後一時～三時半、さあみんなで目標宣言、六月二十日（木）午前九時～正午、あなたの健康度チェック　七月五日（金）午後一時～四時、肥満と健康・生活のセルフチェック　七月十日（水）午前十時～午後一時、減量のためのおいしい食事づくり　七月十五日（月）午後一時半～三時半、楽しく続ける健康づくりのための運動▽場所　厚木保健所海老名支所▽対象　肥満及び肥満気味の人、ダイエットに関心のある人▽費用　3千500円（心電図、肺活量、貧血、コレステロール、中性脂肪などの検査費用）▽講師　医師、栄養士ほか▽申し込み・問い合わせ　厚木保健所海老名支所（☎32・7911）。

アウトドア入門講座

県立藤野青少年の家ニューキャンプのスタイルとノウハウについて、実体験してみませんか。

▽日程、第一回＝五月二十六日（日）　第二回＝六月九日（日）　第三回＝六月二十九日（土）（日帰り三回）▽場所　藤野青少年の家（津久井郡藤野町牧野4819）▽対象　高校生以上成人▽定員　二十人▽講師　日本オートキャンプ協会▽申し込み　五月七日（火）から直接同所（☎0426・8・9282）へ。定員になり次第締め切ります▽その他　詳しくは同所へ。申し込み次第、要項をお送りします。

図書館

市制20周年記念「沼田曜一の民話の世界」を開催

図書館では、民話の語りを聞く会を催します。ぜひおでかけください。

▷日時　5月19日（日）午後1時半～3時10分▷会場　市総合福祉会館1階大広間▷申し込み　5月10日（金）午前9時より市図書館へ電話（☎31・5152）または来館申し込み。先着200人。入場は無料。会場と申し込み先が異なりますので、ご注意ください▷演目　あずきまんまの歌、庄助さんの鹿、山姥（やまんば）ほか

＜沼田曜一さんの略歴＞大正13年生まれ。20年前より全国に民話をさぐり、「現代の語り部」として独自の民話の世界をつくる。主な著書は「おこりじぞう」（共著）、「愛と哀しみの人間ばなし」。

市制20周年記念　第11回　さつき展

市さつき研究会では、市制施行20周年を記念し、「第11回さつき展」を開催します。同展はさつきの美しさを市民の皆さんに楽しんでいただくとともに、市の花さつきの普及を目的に行われます。

ご家族でご来場ください。＞とき　5月25日（土）・26日（日）午前9時～午後4時＞ところ　市役所ロビー＞内容　さつきの展示と即売、栽培の技術指導、さつきの無料配布（抽選）。

色あざやかなさつきが来場者を魅了

5月25・26日
市役所ロビー

忘れた郷土の歴史

10カ所に標識を設置

海老名は地形上、南北に相模横山丘陵（座間丘陵）が走っているため坂道が多く、古くからの坂地名をもつ坂が数多くあります。こうした坂地名は、先人たちが自分たちの生活道路にまつわる故事や特徴をもとに、親しみをこめて命名したもので、いわば〝ふるさとの文化遺産〟ともいうべきものです。市ではこれらの坂地名を後世に伝えるため、昭和六十二年から標識を設置し続け、現在十カ所の坂道に設置されています。今回は、その一部を紹介するとともに、本紙掲載の「海老名の坂道」を六年間にわたって執筆された池田武治さんから、市内に残る坂地名の概要を伺いました。

坂地名や由来を標示

通勤、通学、買い物などのため、毎日何気なく上り下りしている多くの坂道。その坂地名には土地ごとの歴史や風土、生活などが刻み込まれていることを私たちは見落としがちです。

市内には、古くから坂地名がついている坂道が六十カ所以上あり、うち五十八の坂道を本紙で紹介しましたが、一歩一歩ふみしめながら上り下りした昔と違い、自動車が普及している現在では坂地名の由来を知る人の数も少なくなっています。

①念仏坂　近くには相鉄線のかしわ台駅や、柏ケ谷小学校、柏ケ谷中学校などがあるため、平日の朝夕は会社勤めの人たちや学生たちによく利用されている坂道です。

③音坂　20年前の音坂について、近くに住む石井正雄さん（67歳・写真）は、「荷車がやっと通れるぐらいの狭い坂で、左右には竹が覆うように茂っていた〝昼なお暗き〟坂道でした。現在ではとても想像できない寂しい所でしたね」と話してくれました。

市内十カ所の坂にある標識（15㌢角のアルミニウム合金、高さ1㍍）は、坂道を通じて歴史と文化の誇れる環境作りの一環として、昭和六十二年から市教育委員会が設置してきたもので、標識には坂地名と由来が刻んであります。標識の前でちょっと足を止め、歴史の〝香り〟を味わうのも一興かも…。

設置場所は次のとおりです。

◎念仏坂（柏ケ谷854番地先）…この辺りは鎌倉時代の古戦場で、土地の人々は戦死した武士に念仏を唱えて上り下りしたといわれています（写真①参照）。

◎かいな坂（上今泉1―22―56番地先）…十五世紀、足利幕府の派遣軍に破れた一色伊守の正室護王姫が、少数の家来をつれて逃走中に、この辺りで敵兵に襲われて家来は全員討死をしました。この家来たちの不甲斐なさから「不甲斐ない坂」となり、これがつまって「かいな坂」になったといわれています（写真②参照）。

②かいな坂　上星小学校近くにあるこの坂の両側には樹木が多く、木漏れ日の中を歩くとちょっとした森林浴気分。通学に利用している児童によると、「登校のときは上りだからちょっと疲れるけど、下校のときはとっても楽で足どりも軽い」とか。

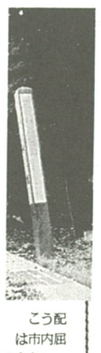
◎音坂（国分832番地先）…この坂の近くに車井戸があり、朝夕となく水をくむ「からから」という音や、水おけが水面をたたく「ほおん」という音が竹林を通して良く聞こえた坂だったのでこの名がついた、といわれています（写真③参照）。

◎居合坂（本郷1223番地先）…坂近くには川、また、かつては水路もありました。居合の居は井と同じ意味で泉、用水、土を築いて水流をせき止めることなどを表し、水流や川の合流点を示すという説があり、農耕民族として水に深い関心があったところから発生した坂地名と思われます（写真④参照）。

◎清水坂（杉久保703番地先）…かつて坂の上り口から清水が湧き出て、三・三平方㍍ほどの泉が清れつな水をたたえていたのが坂地名の由来、といわれています（写真⑤参照）。

◎吾妻（あずま）坂（中河内1219番地先）…昔、この坂の修復工事の際、仏像が掘り出されて近くの本覚寺に安置されましたが、本覚寺の山号が「吾妻山」ということからこの名がつけられたようです（写真⑥参照）。

このほかに標識のある坂は、大昔、海老名耕地が入海だったころ、沖の方まで見えたという沖の坂（大谷3474―1番地先）、茶の湯の水を汲みあげた井戸があった井戸坂（上今泉2―4―2番地先）、椿地蔵がその名の由来となった地蔵坂（杉久保2732―2番地先）、坂近くに半井驢庵（なかいろあん）という江戸幕府のお抱え医者の屋敷があった、と思われるところから名付けられた驢庵坂（杉久保2424番地先）などがあります。



こう配は市内屈指（池田さん）。

残した先人の遺産

本紙に「海老名の坂道」を掲載して以来、私がいつも通る坂の名にこんな由来があったとは知らなかった」といった反響が市に寄せられ続けてきましたが、四月一日号掲載分をもって終了しました。

ここでは、「海老名の坂道」の執筆者池田武治さん（83歳）が書かれた坂地名の概要を紹介します。

昭和六十一年五月から足掛け六年にわたり、交通路の地名である海老名の坂を毎月一日号の本紙で紹介してきたが、前回の「とおやぎの坂」をもってひとまず筆を置くことにした。

まだ呼び名のある坂が二、三あるが、「市史を訪ねて　海老名の坂道」というタイトルにこたえるだけの内容に乏しいので省略することにした。とにかくご支援を得て、総計五十八の坂の由来を推測を交えてではあるが収録することができ、ありがたく思っている。

採択したこれらの坂を、地区別に集計すると次のようになる。ただし、二つの大字の境界線である「清水坂」は杉久保へ、「えいぞうの坂」は本郷へ所属させて計上した。

国分…十二、大谷…十二、上今泉…七、柏ケ谷…四、望地…二、杉久保…十四、中河内…一、本郷…六

この数字は地区の広狭にもよるが、杉久保、大谷、国分などの多い大字ほど地形が複雑であることを端的に示している。

相模横山（座間丘陵）にかかる坂は二十五あり、断然多いのではないかとの予想に反して、丘陵西側の台地にかかるいわゆる九里の土手を上る坂はそれより一つ上回った。これは、わが市がかつては純農村地帯であり、海老名耕地の農耕と密接不離な関係があったからだろう。

次に坂を上る向きからいうと、西から東へ向かって上る坂が四十あるのに対し、東から西に向かって上る坂はわずか三で約七〇％が西から東に向かう坂ということは、村の主体が西部にあることを意味しているのであろう。つまり、丘陵の西側に集落が多く、従って人口密度も高く政治経済すべてがこちらに片寄っていたためであろう。

坂地名の分類には不確定要素があるが、五十八の坂を分けてみると次のようになる。

一、自然

①地形からつけられたもの…谷戸坂、峰坂など計八

②地質からつけられたもの…赤坂、石名坂など計五

③動物からつけられたもの…驢庵、むじな坂など計三

④植物からつけられたもの…狐坂、桜坂など計三

二、人文

①社寺からつけられたもの…山王坂、堂坂など計十三

②方位からつけられたもの…南坂、上の坂など計七

③伝説からつけられたもの…四十坂、念仏坂など計六

④人名からつけられたもの…七えむむ坂、驢庵坂など計五

⑤地名からつけられたもの…居合坂、浜天坂など計三

⑥人体からつけられたもの…足折坂、へっぴり坂など計二

⑦居号からつけられたもの…餅屋の坂、計一

⑧音響からつけられたもの…音坂、計一

⑨その他…古坂など計四

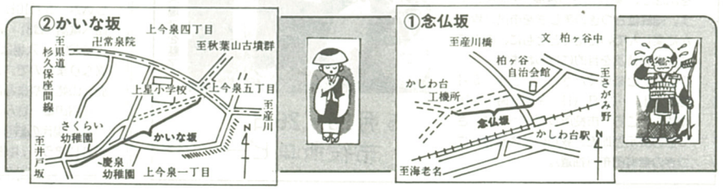
――以上のように、さまざまな事象をもとに単的に命名していることがわかる。「名は体を表す」というたとえがあるが、これら坂地名は、先人が遺した歴史的文化遺産であり貴重な文化財といえる。

しかし、我々の日常生活とも密接に結びついていたこれらの坂道も、多くは弧線・舗装整備されて近代的な姿に変貌し、自家用車で難なく通過できるため、坂の名を口にする必要性はなくなってきた。

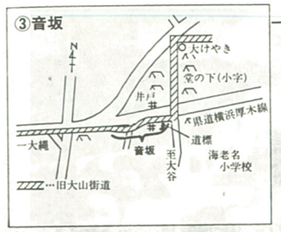
この傾向は将来ますます強くなっていくであろうが、郷土の歴史と文化を誇る一市民として由緒ある多くの坂地名に深い関心を持ち続け、永く後世に伝えたいと願うものである。

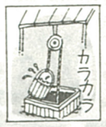
（池田　武治）

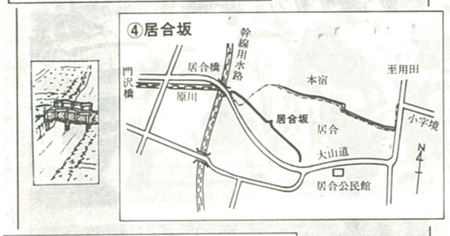
⑤清水坂　指（標識隣は池田武治

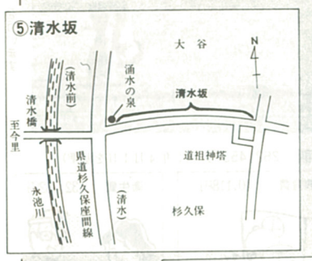


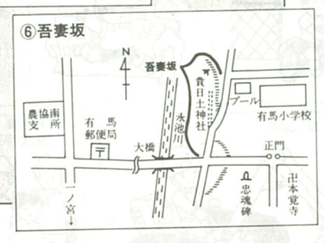
坂道に刻

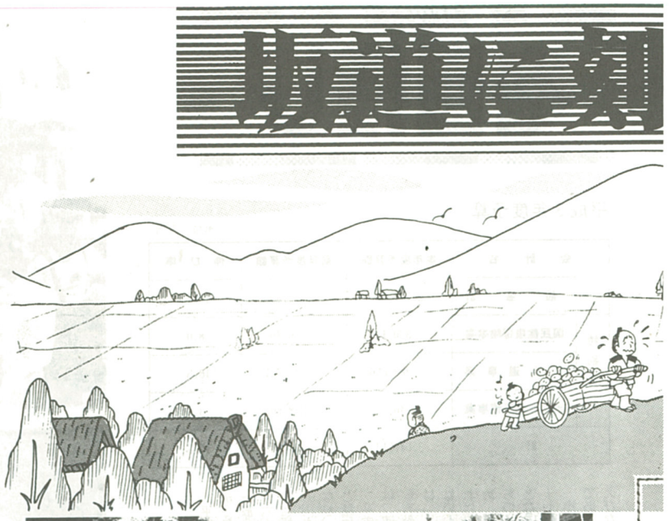


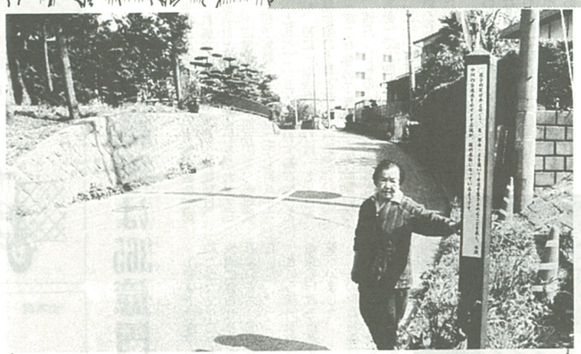












④居合坂　「10年前は、でこぼこの砂利道で歩くのに苦労しましたが、当時は自動車の数も少なく、辺り一面に畑が広がり寒にすがすがしい気分で買い物などに利用したものです。今は舗装されて歩きやすくなりましたが、反面、自動車の数が増えたので、以前のようにのんびり歩くことができなくなりました」と話すのは、居合坂近くに住む高木やえ子さん（67歳・写真）。

⑥吾妻坂　吾妻坂ではその昔、貧困のため奉公に出る子とその母が泣いて別れた坂なので、別名は「泣き別れ坂」。

財政特集

を目指し

次代を担う子供たちのためにも21世紀に向けて着実な"まちづくり"を行います

平成3年度予算

（単位：万円）

会計名		本年度予算額	前年度予算額	伸び率
一般会計		2,791,500	2,379,800	17.3%
特別会計	国民健康保険事業	320,170	296,557	8.0
	下水道事業	288,696	247,727	16.5
	老人保健医療事業	246,758	238,702	3.4
計		3,647,124	3,162,786	15.3

予算総額は365億円に

平成三年度予算が、三月定例議会で可決され成立しました。この予算総額は、一般会計と三つの特別会計を合わせて三百六十四億七千百二十四万円で、前年度の当初予算額三百十六億二千七百八十六万円と比べて一五・三%の大幅な伸びとなり、特に一般会計の伸びは一七・三%と積極型の予算となっています。

平成三年度の予算編成方針については、四月一日号の「平成三年度の市長施政方針」でお知らせしましたが、本年度は"二十一世紀に向けて海老名市はいかにあるべきか、何をしなければならないか"という方向を定め、行政と市民が一体となってまちづくりを進めていくための指針となる「第三次総合計画」のスタートの年です。

市では、この計画の将来都市像である「ゆとりと活力のあるまちえびな」の実現を目指して、

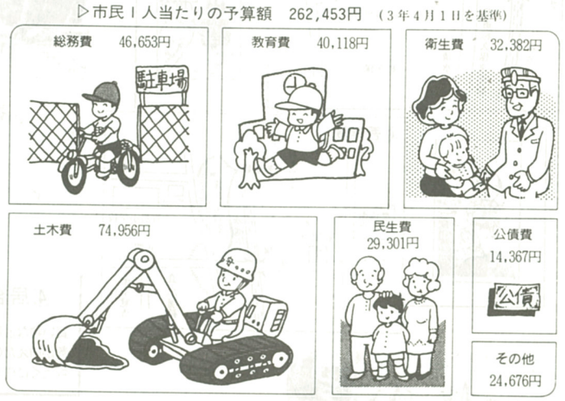
①健康で生きがいにみちたまち　②心ゆたかな文化のかおるまち　③安心して快適に暮らせるまち　④ゆとりのある住みよいまち　⑤地域経済に活力があるまち

という部門別の目標を設定し、計画創造型の行政を推進するための予算の編成を行いました。

（この財政特集は、地方自治法などの規定に基づき公表するものです）

＝関連記事9・10・11面に

▷市民1人当たりの予算額　262,453円（3年4月1日を基準）



3年度 主な事業

総務費

▽市制二十周年記念事業　七〇〇万円

市制施行二十周年を迎え、市民とともに"ふるさとえびな"への愛着と郷土意識をさらに深めるための記念事業を実施する。

▽自転車等駐車場新設事業　七三七六万円

海老名駅周辺の道路や公園に放置され、交通の妨げとなっている自転車やバイクの一掃を図るため、東口と西口に有料駐車場を設置する。

▽（仮称）上今泉地区コミュニティセンター建設事業　二億七四五四万円

地域住民のコミュニティの場として、平成元～三年度の三カ年継続事業で、上今泉地区に市内で四館目のコミュニティセンターを建設する。

▽（仮称）国分地区コミュニティセンター建設事業　一億七一〇四万円

地域住民のコミュニティの場として、平成三～四年度の二カ年継続事業で、国分地区に市内で五館目のコミュニティセンターを建設する。

民生費

▽わかば会館デイ・サービスセンター事業　六〇六〇万円

在宅の虚弱老人や身体障害者に対し、わかば会館施設を使用した訓練・指導・入浴などのサービス事業を実施する。

▽二十一世紀高齢化社会を考えるセミナー開催事業　一〇〇万円

二十一世紀の高齢化社会に向けて、高齢者福祉の現状と今後の課題を市民とともに認識し「二十一世紀高齢者福祉長期計画」の実現を図るためのセミナーを開催する。

▽老人福祉施設入所措置事業　二億七九二四万円

在宅での生活が困難な事情にある老人を養護老人ホームまたは特別養護老人ホームに入所措置する。

▽保育所入所措置事業　二億七九六万円

共働きや母子家庭などで、保育が困難な家庭の児童を保育所に入所措置する。

衛生費

▽（仮称）保健相談センター建設事業　一四億五六九四万円

総合的な対人保健サービスの充実と高齢化社会に対処するための拠点となる保健相談センターを建設する。

▽成人歯科健康診査事業　九九七万円

四十歳以上の市民を対象に、歯科疾患の早期発見と早期治療を進めるため成人歯科健康診査を実施する。

▽資源分別回収等奨励事業　三七〇二万円

ごみの減量化と再資源化による地球環境の保全のため、集団資源回収実施団体に対しての奨励金の交付と、市・自治会（市民）・資源回収業者が協調して行う資源分別回収事業を推進する団体に対し奨励金及び補助金の交付を行う。

労働費

▽勤労者資金融資事業　二億一九〇〇万円

勤労者のための金融機関である労働金庫及び友愛信用組合に運用資金を預託し、市内勤労者の資金需要に応える。

農林水産業費

▽花のさとづくり事業　二九五五万円

優良農地を保全しながら未利用地を有効適切に活用し、美しいまちづくり、魅力ある地域づくりを推進するため、年間を通して市民が身近に花とふれあい親しめる花のさとづくり事業を実施する。

▽水と花と緑のこみち整備事業　六〇〇〇万円

都市化の進展に伴う緑と水辺空間の減少に対処するため、農業用水の機能を生かし

……9面上段へつづく

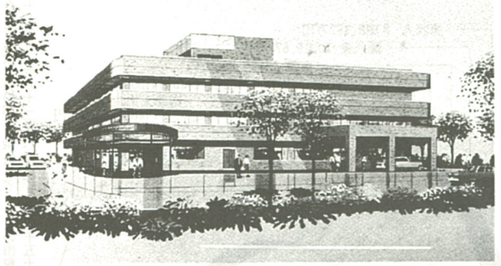
ゆとりと活力のある"街"

財政特集

土木費が第1位

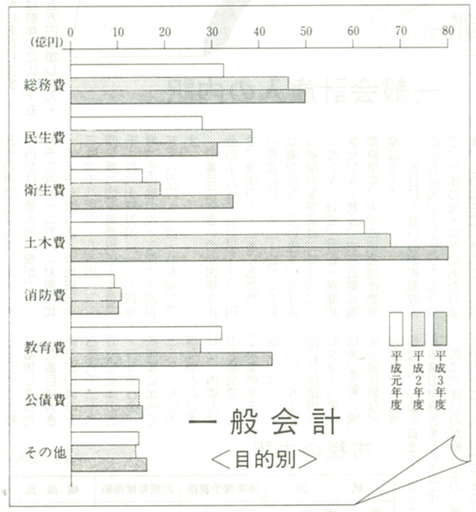
積極的に都市基盤を整備

歳出



来年3月完成予定の保健相談センター

一般会計＜目的別＞



一般会計の最も大きいのは土木費で、七十九億七千二百四十四万円、全体の二八・六%にあたり、前年度に比べると一七・八%の増となりました。これは、市道の新設改良、近隣公園用地取得及び整備、運動公園陸上競技場の建設、都市排水路の改修など都市基盤の整備を積極的に進めるものです。

二番目に大きいのが総務費の四十九億六千二百十四万円で、全体の一七・八%を占め、前年度に比べて七・四%増加しました。このなかには、上今泉地区と国分地区のコミュニティセンター建設、海老名駅周辺への自転車と原動機付自転車の駐車場建設、「まちづくり基金」など各基金への利子の積み立てが含まれています。

三番目に大きいのが教育費の四十二億六千七百六万円で、全体の一五・三%を占め、前年度に比べて五四・六%の大幅な増となりました。これは、柏ケ谷中学校の校舎防音改造及び増築工事、有馬中学校校舎増築工事やパソコン導入など教材の整備充実を進めるものです。

次に大きいのが衛生費の三十四億四千四百十七万円で、全体の一二・三%を占め、前年度に比べると八一・二%の大幅な増となりました。これは、（仮称）保健相談センター建設、健康管理情報システム開発、高座清掃施設組合への負担金や資源分別回収の実施などによるものです。

また、民生費は三十一億千六百五十三万円で、全体の一一・二%を占めていますが、前年度に比べると一八・九%の減少となりました。これは、前年度にわかば会館の建設事業があったためです。

全体としては、前年度に比べ四十一億千七百万円増加し、伸び率も一七・三%となり、前年度の伸び率一四・五%をも上回る大幅な伸びとなっています。第三次総合計画の将来都市像である「ゆとりと活力のあるまちえびな」早期実現を目指して積極的に都市づくりに取り組み、市民福祉の向上と充実を図るための予算の編成を行いました。

総務費

▽市道・街路整備事業　三一億三三二七万円

▽都市排水路等整備事業　五億五〇六八万円

消防費

▽防火水槽等整備事業　五三三一万円

消防水利の不足する地区へ防火水槽と消火栓を設置する。

▽非常用飲料水兼用貯水槽設置事業　四五七〇万円

災害時の飲料水を確保するため、広域避難場所予定地の杉久保富谷公園に市内で四カ所目の百ノ貯水槽を設置する。

▽防災無線整備事業　二一五七万円

災害時の情報の収集伝達を確保するため、移動局と可搬局の増強を図る。

教育費

▽中学校校舎防音改造及び増築事業　一七億三九五三万円

柏ケ谷中学校校舎の教育環境の改善を図るため、既存校舎の防音改造工事を実施する。また、柏ケ谷中学校、有馬中学校の教室不足を解消するため増築工事を実施する。

▽教育用パソコン導入事業　一五一二万円

新学習指導要領に基づき教育用パソコンの計画的設置を進め、本年度は海老名中学校へ導入設置する。

▽教材・教具等整備事業　一億三六〇七万円

教材消耗品や備品などの整備充実を図り、より良い教育環境のもとで児童生徒に対する教育効果の向上を図る。

▽相模国分寺保存整備及び埋蔵文化財発掘調査事業　二八八八万円

史跡相模国分寺保存整備計画に基づき整備に着手し、また、国分尼寺など埋蔵文化財の遺跡保存を実施する。

▽図書館電算管理システム更新事業　一一八一万円

図書館利用者が直接テレビ画面で容易に閲覧図書を検索できるシステムを設置するとともに、貸し出しなど事務処理時間の短縮によるサービス向上を図る。

た遊歩道を整備する。

▽農業基盤整備事業　二億二九三二万円

農業の生産性と安全性の向上を図るため、農道や用排水路の改修整備を実施する。

商工費

▽中小企業事業資金融資事業　二億四九九六万円

中小企業者の振興と経営の安定化を図るため、事業資金の貸付や利子補給を行う。

▽観光協会設立運営補助事業　二〇〇万円

市の自然・歴史的遺産など観光資源の発掘や行事・まつりなどの観光情報を提供する観光協会の設立とその運営に対して助成する。

▽観光シンボル施設建設補助事業　八八〇〇万円

観光協会が市制二十周年を記念して中央公園に建設する観光シンボルの建設費の一部を助成する。

土木費

▽海老名駅周辺駐車場調査設計事業　八四二九万円

駅周辺の違法路上駐車車の排除と交通渋滞を解消し、安全で円滑な道路交通を確保するため、公営駐車場の調査設計を行う。

▽海老名運動公園陸上競技場等整備事業　九億五〇〇〇万円

平成二～三年度継続事業で実施している運動公園陸上競技場、多目的広場、冒険広場などの整備を進め、公園の全面完成を図る。

▽大谷近隣公園整備事業　三億四七八八万円

地域住民のコミュニティ活動の場とし、また、災害時の避難場所にもなる近隣公園の用地取得を行い、平成五年度完成を目指して多目的広場の整備に着手する。

▽市営住宅建替調査設計事業　三二三四万円

平成元年度に策定した建設計画に基づき、老朽化した国分大松原市営住宅の建て替えに伴う測量調査と実施設計を行う。

▽並木橋等改良事業　四億一〇〇〇万円

車両の相互通行に支障が生じている並木橋とかしわ台こ線橋の取付道路を改良し、交通渋滞の解消と歩行者の安全を確保する。

▽市道・街路整備事業　三一億三三二七万円

▽都市排水路等整備事業　五億五〇六八万円

消防費

▽防火水槽等整備事業　五三三一万円

消防水利の不足する地区へ防火水槽と消火栓を設置する。

▽非常用飲料水兼用貯水槽設置事業　四五七〇万円

災害時の飲料水を確保するため、広域避難場所予定地の杉久保富谷公園に市内で四カ所目の百ノ貯水槽を設置する。

▽防災無線整備事業　二一五七万円

災害時の情報の収集伝達を確保するため、移動局と可搬局の増強を図る。

教育費

▽中学校校舎防音改造及び増築事業　一七億三九五三万円

柏ケ谷中学校校舎の教育環境の改善を図るため、既存校舎の防音改造工事を実施する。また、柏ケ谷中学校、有馬中学校の教室不足を解消するため増築工事を実施する。

▽教育用パソコン導入事業　一五一二万円

新学習指導要領に基づき教育用パソコンの計画的設置を進め、本年度は海老名中学校へ導入設置する。

▽教材・教具等整備事業　一億三六〇七万円

教材消耗品や備品などの整備充実を図り、より良い教育環境のもとで児童生徒に対する教育効果の向上を図る。

▽相模国分寺保存整備及び埋蔵文化財発掘調査事業　二八八八万円

史跡相模国分寺保存整備計画に基づき整備に着手し、また、国分尼寺など埋蔵文化財の遺跡保存を実施する。

▽図書館電算管理システム更新事業　一一八一万円

図書館利用者が直接テレビ画面で容易に閲覧図書を検索できるシステムを設置するとともに、貸し出しなど事務処理時間の短縮によるサービス向上を図る。

歳入

市税収入は178億円

前年度に比べ9.5%の増

一般会計歳入予算に占める割合の最も大きいのが市税で百七十七億九千百六十一万円、全体の六三・八%にあたります。

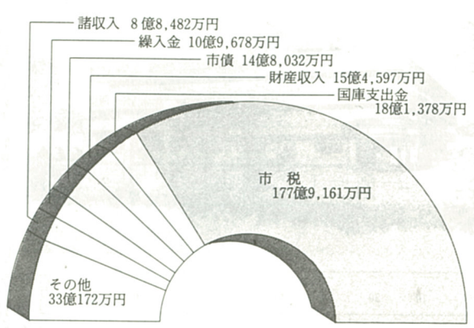
この市税は前年度に比べ十五億四千五十五万円増加し、九・五%の伸びとなっています。その内訳は、個人市民税が七十三億千九百七十二万円（対前年比一三・一%増）、法人市民税二十三億六千八百六十八万円（二・四%減）、固定資産税五十七億三千八百六十三万円（一二・四%増）、その他の税十三億六千四百五十八万円（一四・八%増）です。

二番目に大きいのが国庫支出金の十八億千三百七十八万円で、全体の六・五%にあたり、前年度に比べ六〇・四%の大幅な増加になっています。今年度の補助対象事業は、コミュニティセンター建設、（仮称）保健相談センター建設、大谷近隣公園整備事業、中学校校舎増改築事業などです。

三番目に大きいのが財産収入の十五億四千五百九十七万円で、全体の五・六%にあたります。これは主に「まちづくり基金」や「財政調整基金」など、各基金の預金から生まれる利子の収入額で、前年度に比べて三七・〇%と大幅に増加しました。

四番目に大きいのが市債の十四億八千三十二万円で全体の五・三%を占め、前年度に比べて三八・二%の大幅な増となりました。市債とは市の借金ですので対象事業を厳選し、コミュニティセンター、（仮称）保健相談センター、学校校舎、運動公園陸上競技場などの建設や市道整備など、多額の資金を必要とする事業の財源とするものです。

次に大きいのが繰入金の十億九千六百七十八万円で全体の三・九%を占め、前年度に比べて一一一・二%の大幅な増となっています。これは、毎老名駅周辺の駐車場設置計画や並木橋の交通渋滞解消と安全確保のための改良事業など、まちづくりを早急に推進するため、高齢者福祉の充実などの事業の財源とするために基金を取りくずして繰り入れるものです。



一般会計歳入の内訳

市税の内訳

（単位：万円）

区分	本年度予算額	対前年度伸率	構成比
個人市民税	731,972	13.1%	41.1%
法人市民税	336,868	△ 3.4	18.9
固定資産税	573,863	12.4	32.3
軽自動車税	4,493	4.7	0.3
市たばこ税	54,800	12.3	3.1
特別土地保有税	1,720	375.6	0.1
都市計画税	75,445	15.4	4.2
合計	1,779,161	9.5	100.0

特別会計の概要

国民健康保険事業

国民健康保険事業は、加入者がいざという時の病気やけがに備えて、お互いに保険税を出し合って、安心して治療が受けられるという相互扶助を目的に生まれた制度です。

職場の健康保険（健康保険組合や共済組合など）に加入している方や、生活保護を受けている方などを除いて、本市に住んでいる方は国民健康保険に加入しなければなりません。

平成三年二月末現在の国民健康保険の加入者は二万三千六十六人で、市民全体の二一・七%の方が加入しています。

国民健康保険の給付は、医療費のほかに助産費、葬祭費などがあります。また、医療費が高額になって、負担した額が一定限度を超えた場合には、高額療養費として超えた分が国民健康保険から支払われる制度もあります。

国民健康保険の財源は、加入者にそれぞれの収入に応じて納めていただく国民健康保険税と、国・県の補助金、一般会計からの繰入金などで賄われています。

本年度の予算総額は三十二億百七十万円で、前年度に比べて八・〇%の増となっています。

下水道事業

下水道事業は、都市の健全な発達と公衆衛生の向上を図るとともに、海、河川、湖沼などの公共用水域の水質保全を目的に行われています。

市では昭和四十八年三月から事業に着手し、国の第七次下水道整備五カ年計画（平成三年度～七年度）や相模川流域下水道の整備計画に合わせて、早期完成に向けて事業を推進しています。

人口の増加による市街地の拡大と流域下水道の整備進展に対応して、これまで四回にわたって認可区域を拡張し、平成二年度末の整備面積は七百十四ヘクタール、普及率は五八・%となっています。本年度は、六十三年度に事業認可の拡大を図った区域の工事を前年度に引き続いて実施します。主な工事区域は、国分、下今泉、上今泉、柏ケ谷、東柏ケ谷、社家、門沢橋で、面的整備の推進と普及率の向上を図ります。

本年度の予算総額は二十八億八千六百九十六万円で、前年度に比べて一六・五%の増となっています。

老人保健医療事業

老人保健医療事業は、昭和五十八年に、国民の老後の健康保持と適切な医療確保を目的として創設されました。給付対象者は、七十歳以上の方と、六十五歳から六十九歳までの障害（一～三級）をお持ちの方で、平成三年二月末現在四千四百二十三人が加っており昨年同月比で五・三%増えています。

医療費は、各医療保険者からの拠出金からなる支払基金交付金と、国・県支出金、一般会計からの繰越金で賄われています。

本年度の予算総額は二十四億六千七百五十八万円で、前年度に比べ三・四%の増となっています。

市債の現在高

（単位：万円）

会計	区分	2.9.30現在高	2.10.1～3.2.27 借入額	償還額	3.2.28未償還額
一般会計	庁舎建設債	100,000	0	0	100,000
	社会福祉施設債	58,376	0	0	58,376
	児童福祉施設債	2,751	0	0	2,751
	地域改善対策事業債	6,770	0	4	6,766
	健康センター債	421	0	0	421
	市道債	105,182	0	0	105,182
	都市計画債	272,379	0	0	272,379
	消防施設債	25,894	0	0	25,894
	教育施設債	719,075	0	0	719,075
	相模国分寺史跡債	13,899	0	0	13,899
	コミュニティセンター債	45,475	0	0	45,475
	計	1,350,222	0	4	1,350,218
特別会計	相模川流域下水道債	205,066	0	0	205,066
	公共下水道債	571,498	35,390	0	606,888
	計	776,564	35,390	0	811,954

基金の状況

（単位：万円）

基金名	現在高	備考
用品調達基金	297	現金
	2	買掛金
	1	売掛金
	4	消耗品
財政調整基金	211,090	現金
公共施設整備基金	110,477	〃
土地開発基金	37,277	〃
	5,000	貸付金
庁舎等維持管理基金	300,000	現金
まちづくり基金	1,198,017	〃
国民年金印紙購入基金	500	〃
	0	印紙
まごころ基金	1,489	現金
高齢者福祉基金	52,013	〃
みどりづくり基金	52,773	〃
奨学金基金	10,810	〃
国民健康保険財政調整基金	45,302	〃

市有財産

（単位：㎡）

区分		土地	建物
行政財産	市庁舎	17,754	15,837
	消防施設	8,571	4,509
	学校	334,529	106,772
	公営住宅	27,756	3,706
	保育園	8,994	1,812
	児童館	3,652	2,265
	公民館	0	1,614
	公園	272,431	4,881
	その他の施設	99,972	27,164
	小計	773,659	168,560
普通財産	田	4,142	0
	畑	423	0
	宅地	40,849	0
	雑種地	5,852	0
	その他の地目の土地	693	0
	小計	51,959	0
計		825,618	168,560

市有財産などの状況

平成3年2月28日現在

わかば会館が完成

平成2年度の執行状況

平成二年度予算の一般会計と三つの特別会計を合わせた当初予算額は、三百十六億二千七百八十六万円でしたが、その後の補正などで二月末現在、三百六十三億千百四十二万円となっています。

各会計別では、一般会計が当初予算二百三十七億九千八百万円に対し、三回の補正などで二百七十四億六千五百八万円となっています。

国民健康保険事業特別会計は、当初予算二十九億六千五百五十七万円に対し、一回の補正で三十億千二百九十八万円となっています。

下水道事業特別会計は、当初予算二十四億七千七百二十七万円に対し、三回の補正などで三十三億七十六百二十三万円となっています。

老人保健医療事業特別会計は、当初予算二十三億八千七十七万円に対し、二回の補正で二十四億五千七百十三万円となっています。

一般会計の歳入の執行状況は、平成三年二月二十八日現在で八三・六%となっています。このうち、県支出金と市債の執行率が低いのは、これらの対象事業が完了した後でなければ収入されないためで、地方譲与税、地方交付税、繰入金なども大半が三月に収入されるので、このような状況となっています。

歳出の執行率は、全体で六三・〇%となっています。

款別の執行率では、総務費、農林水産業費、土木費が低くなっていますが、これは、施設の建設、農道・用排水路、市道などの工期が年度末であり、未払いとなっているためです。

また、公債費については、年二回の返済であり、後期払いを三月末に行うため執行率が低くなっています。

実施した主な事業

平成二年度に執行した一般会計の主な事業は、次のとおりです。

総務費では、第三次総合計画の策定、（仮称）上今泉地区コミュニティセンターの建設着手、勝瀬文化センターの建設、外国人用ガイドマップの発行、国勢調査事業などを実施しました。

民生費では、わかば会館の建設、高齢者福祉長期計画の策定、生活保護事業などを実施し、福祉の向上に努めました。

衛生費では、（仮称）保健相談センターの建設着手、救急医療確保対策事業、集団資源回収実施奨励事業、ごみ収集車の更新などを行い公衆衛生の向上を図りました。

農林水産業費では、市内農家の経営安定化を図るための農家営農対策事業や青空市の開設、農道・用排水路などの整備を実施しました。

商工費では、産業まつりの開催、商工会補助事業、ウィンターイルミネーションなどを行い市内商工業の振興を図りました。

土木費では、市道の整備、毎老名運動公園整備（陸上競技場の建設着手）、大谷近隣公園の用地取得、国分地区住居表示整備事業、都市排水路・下水路の整備などを行いました。

消防費では、消防署北分署の増改築、防火水槽の設置、小型動力ポンプ付水槽車の購入、避難所に非常照明設備の設置、防災無線の整備などを行い、防災力の強化に努めました。

教育費では、小中学校施設の改修、英語指導助手派遣事業、自動車文庫車両の更新などを実施しました。

障害福祉の拠点として建設されたわかば会館

毎年大勢の市民でにぎわう産業まつり（去年の会場風景）

一般会計予算の執行状況

〈歳入〉　（3.2.28現在　単位：万円）

款	当初予算額A	補正等予算額B	予算現額A+B	収入済額C	執行率 C/(A+B)
市税	1,625,106	91,158	1,716,264	1,647,464	96.0%
地方譲与税	48,000	0	48,000	27,581	57.5
利子割交付金	21,000	0	21,000	32,414	154.4
自動車取得税交付金	43,000	0	43,000	30,060	69.9
地方交付税	9,000	0	9,000	24	0.3
交通安全対策特別交付金	1,200	0	1,200	1,091	90.9
分担金及び負担金	25,216	2,797	28,013	22,178	79.2
使用料及び手数料	19,279	1,004	20,283	19,764	97.4
国庫支出金	113,065	△ 4,084	108,981	69,126	63.4
県支出金	68,723	5,646	74,369	37,907	51.0
財産収入	112,844	44,341	157,185	75,460	48.0
寄附金	305	860	1,165	1,188	102.0
繰入金	51,922	3,653	55,575	18,723	33.7
繰越金	50,000	223,312	273,312	273,312	100.0
諸収入	83,993	20,111	104,104	41,006	39.4
市債	107,147	△ 22,090	85,057	47	0.1
計	2,379,800	366,708	2,746,508	2,297,345	83.6

〈歳出〉　（3.2.28現在　単位：万円）

款	当初予算額A	補正等予算額B	予算現額A+B	支出済額C	執行率 C/(A+B)
議会費	27,907	1,715	29,622	25,929	87.5%
総務費	461,945	92,194	554,139	322,318	58.2
民生費	384,458	12,943	397,401	246,474	62.0
衛生費	190,075	13,193	203,268	153,718	75.6
労働費	19,323	3,500	22,823	21,755	95.3
農林水産業費	49,469	1,936	51,405	27,023	52.6
商工費	36,734	2,317	39,051	36,687	93.9
土木費	676,637	224,777	901,414	508,410	56.4
消防費	107,353	4,435	111,788	92,746	83.0
教育費	275,934	9,575	285,509	225,826	79.1
公債費	144,715	1,274	145,989	70,328	48.2
諸支出金	250	0	250	0	0.0
予備費	5,000	△ 1,151	3,849	0	0.0
計	2,379,800	366,708	2,746,508	1,731,214	63.0

特別会計予算の執行状況

国民健康保険事業

〈歳入〉

款	予算現額A	収入済額B	執行率 B/A
国民健康保険税	131,650	113,802	86.4%
国庫支出金	94,000	64,106	68.2
療養給付費交付金	33,474	25,617	76.5
県支出金	660	420	63.6
共同事業交付金	2,463	1,643	66.7
財産収入	2,894	1,243	43.0
繰入金	32,800	16,000	48.8
繰越金	2,762	2,762	100.0
諸収入	595	1,288	216.5
計	301,298	226,881	75.3

〈歳出〉　（3.2.28現在　単位：万円）

款	予算現額A	支出済額B	執行率 B/A
総務費	7,117	5,985	84.1%
保険給付費	216,010	149,336	69.1
老人保健拠出金	67,246	53,357	79.3
共同事業拠出金	1,981	1,485	75.0
保健施設費	487	356	73.1
基金積立金	2,894	1,243	43.0
公債費	144	0	0.0
諸支出金	320	123	38.4
予備費	5,099	0	0.0
計	301,298	211,885	70.3

下水道事業

〈歳入〉

款	予算現額A	収入済額B	執行率 B/A
分担金及び負担金	9,065	9,214	101.6%
使用料及び手数料	42,067	37,468	89.1
国庫支出金	19,275	3,375	17.5
県支出金	2,120	2,120	100.0
繰入金	141,037	120,000	85.1
繰越金	13,311	13,311	100.0
諸収入	3,598	825	22.9
市債	107,150	2,300	2.1
計	337,623	188,613	55.9

〈歳出〉　（3.2.28現在　単位：万円）

款	予算現額A	支出済額B	執行率 B/A
総務費	46,979	40,849	87.0%
事業費	225,026	81,567	36.2
公債費	65,390	30,849	47.2
予備費	228	0	0.0
計	337,623	153,265	45.4

老人保健医療事業

〈歳入〉

款	予算現額A	収入済額B	執行率 B/A
支払基金交付金	165,713	128,199	77.4%
国庫支出金	47,132	43,034	91.3
県支出金	11,783	9,321	79.1
繰入金	14,444	14,379	99.5
繰越金	6,541	6,541	100.0
諸収入	100	249	249.0
計	245,713	201,723	82.1

〈歳出〉　（3.2.28現在　単位：万円）

款	予算現額A	支出済額B	執行率 B/A
総務費	2,131	1,811	85.0%
医療諸費	236,411	184,276	77.9
公債費	25	0	0.0
諸支出金	6,546	6,541	99.9
予備費	600	0	0.0
計	245,713	192,628	78.4

フォトピックス

約90人が出席

わかば会館の落成を祝う

市わかば会館の落成記念式典が、四月十五日に行われ、招待者約九十人が出席した。

同会館は、心身障害者や在宅の高齢者が、社会参加や自立に向けての各種機能訓練などを総合的に行うことのできる施設として建設されたもので、鉄筋コンクリート造り、地下一階、地上三階建。

当日の式典は、一階の交流室で行われたが、市長や来賓のあいさつのほか感謝状の贈呈などが行われた。また、式典終了後は、三階の体育室で祝賀会が開かれた。

なお、同会館では五月十五日まで開館記念事業として、各種展示、バザー、台唱、台奏などが行われている。問い合わせは、同会館(☎35・2700)へ。

式典では、感謝状の贈呈も…

自然美を再認識

おしば美術展に約50点

おしば美術同好会(松田美佐子会長、会員数15人)主催の「おしば美術展」が二チイ海老名店三階文化ホールで、四月十日から十四日まで開かれ、多数の来場者でにぎわった。

同展は、押し葉を通して自然のすばらしさを見直し、植物保護の心を伝えて行きたいと願い開催されたもの。展示された作品は、ツクシ、フキノトウ、アジサイ、コスモスなどを押し葉にして色紙に張ったり、掛け軸に仕上げたりしたもので、合計約五十点。

作品の中には、タケノコ、イチゴ、カラスウリなどを使ったものもあり来場者も思わずびっくり。どの作品もなかなかの出来栄えで来場者には、大変好評なようだった。

見事な出来栄えに来場者もびっくり

目印は赤いイチゴ

東柏ケ谷にポケットパーク

東柏ケ谷四丁目に整備が進められてきたポケットパーク「いちご広場(面積約200平方㍍)」がこのほど完成し、利用できるようになった。

同地区は、幼児が遊べる広場がほとんどなく、地元からも設置要望が出されていたが、地元地権者の協力により同広場の整備が実現した。

砂遊びもできる「いちご広場」

広場の中央には砂場があり、直径三・五㍍、高さ四・二㍍のいちごパラソル(イチゴ型の日よけ)が設置されている。また、すべり台、ベンチ、花壇も整備されており、広場内はすべてインターロッキング(石張り)舗装が施されている。

幼児が砂遊びをすることもできる広場とあって利用者も多く、地元では大変喜ばれている。

千500本が満開

中央公園のチューリップ

「四季折々の草花の美しさを楽しんでもらおう」と、海老名駅前の中央公園入口花壇に植えられたチューリップ約千五百本が、四月十三日ごろから満開となり、道行く人たちの目を楽しませた。

これらのチューリップは、三月末に球根の状態で植えられたもので、富山県から取り寄せられた。チューリップの花を見て思わず、「わあ、きれい!」と足を止める人の姿が目立ったが、中には記念撮影をするアベックの姿も見受けられた。

なお、この花壇の草花は年六回植え替えられる予定となっている。

満開のチューリップに思わず足を止め…

海老名むかしむかし

第255話 実録 臨死体験

大正の半ばごろだった。養蚕の盛んな時代で、私はまだ遊びたい盛りの年ではあったが、いやいやながらも分相応に手伝いをしていた。

当時蠶(こ)掻きといって蠶を一つ一つ簇からもぎとる手作業があった。面倒な仕事で、養蚕期だけの雇い女と家族総動員しただけでは手が足りず、母の叔母に当たるお年寄りまで頼んだ。

土間へ筵(むしろ)を敷きつめ、その上に蠶が白々と籠もっている簇を山のように積み上げ、その回りをみんなで取り囲んで収繭した。世間話に花を咲かせながら…。

そうしたとき母が、一度死んだ人が生き返ったという話をした。その人の名は記憶にないが、母の生家である杉久保周辺の人だったと思う。

◇　◇　◇

その人は病気で完全に心臓が止まってしまってから、すっうっとした気持ちになり、いつしか花園に立っていた。天国にでもいるような気分で奥へ奥へと歩いていったら、きれいな川のふちに出た。川の向こう側にすでに死んだ知人が二人立っていて、

「おいで、おいで!」

と手招きをする。そこで川を渡ろうとしたら、恐ろしい形相をした大男が、

「こらっ!ここはまだお前が来る所ではない」

と怒鳴った。その声にはっとしたら息を吹き返し、その後元気になった、と…。

◇　◇　◇

去年、上今泉六丁目の加藤武雄老から、これによく似たご自身の体験談を聞いた。そのとき母の話を思い出し、これは単に興味ある作り話ではないことが立証されたと思い、驚きもした。

たまたま、去る三月十五日付の読売新聞夕刊に掲載された臨死体験に関する記事を読み、また、同月十八日から三夜連続で放映されたNHK教育テレビの「臨死体験を探る　死線から帰還した人々」という番組を見て、加藤老の話をもう一度詳しく知りたい、という衝動に駆られた。

臨死体験というのは、『病気や事故などで一度は死、あるいは臨終と思われた人が蘇生(そせい)したとき、その間にその人が体験したこと』をいうのだそうだ。加藤老から再び伺った臨死体験というのはこうである。

◇　◇　◇

昭和の初め、自分が十八のときだった。農家だったので父の言うことを聞いて毎日一心に手伝いをしていた。牛も飼っていたのでその世話もした。

小学校卒業時、友達が進学するのを見て自分も荻野(厚木市)か平塚の農学校へ行きたかったが、それがかなえられなかったので講義録をとって夜は勉強していた。そういう折に祖母が亡くなった。それやこれやで過労に陥ったせいか、祖母の葬式が終わった三日目に突然身体が動かなくなってしまった。

大塚の菊田医師から急性腎臓炎と診断された。そのころ田舎には病院はなかったので、同医師の世話で元看護婦の家政婦を頼み、煤けた黒い天井を眺めて自宅療養をしていたが、病気が進んで尿毒症をおこしてしまった。

とても助からないというので、近所の人も弥生神社にお百度参りをしてくださったという。

病にむしばまれ苦しんでいたが、突然地殻がぱっくり割れ、体がはさまれてしまった。両手を広げて落ちまいともがくがどうにもならない。下を見たら底知れず深い。恐ろしくて穴からはい上がろうとしても引き込まれていく。ちょうどエレベーターで降りているように吸い込まれていく。いよいよ断末魔。家族は、

「もう駄目だ!」

と騒いでいる。

と、途中何かにつかえたように止まった。疲れを感じ、ほっと一息のぞいたら運の花が池にたくさん咲いている。ミズスマシが水面に輪を描くように大勢の天女が衣をひるがえして舞っている。その足は見えない。そして、

「おいでよ、おいでよ」

と手招きをした。そこへ行きたくて行こうとするが、体がいうことをきかない。穴から下へ降りられないでいるうちに、まるで霞が退くように、すっうっと天女が消えてしまった。

「武やーっ、武やーっ!」

と、遠くのほうから自分を呼ぶ声がしたと思ったら家族に取り囲まれていた。

「なぜ、帰ってきてしまったのか」

と、自分はうつろな眼で煤けた天井を見つめていた。後で、自分は一時脈も呼吸も止まっていたと聞かされた。

◇　◇　◇

お茶をいただきながら加藤老に、

「一度霊界をのぞいてきた人は、死への恐怖感はないそうだが?」

と質問したら、

「そうです。その通り」

との答が返ってきた。

(池田　武治)

海老名むかしむかし

☎33・3838(みんわみんわ)

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。

4月18日～5月1日　第87話　妖狐と猛犬勘五郎

5月2日～5月16日　第88話　秋葉山騒動